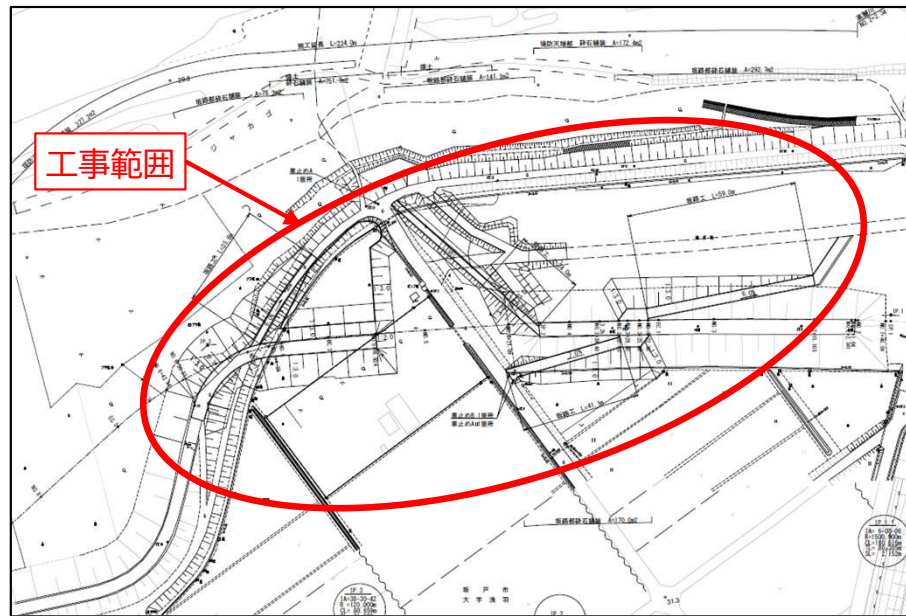


斜め写真

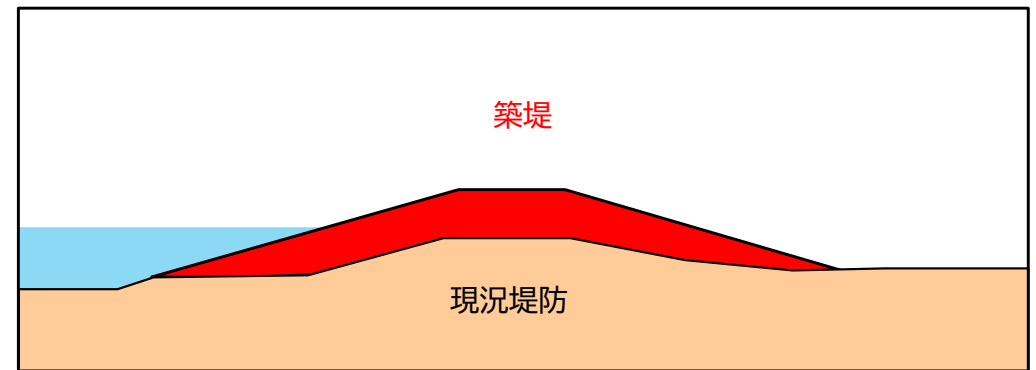


○着 手:令和4年1月  
○完 了:令和4年6月

平面図



標準断面図



凡 例  
[Red Box] 工事範囲

工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施します。



写真① 右岸堤内地から高麗川方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

## 主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に樹林地、草地、堤防で構成されています。堤外地側の樹林は、浅羽ビオトープとして整備されており、堤内地側には水田が広がっています。
- ・樹林地は、主にムクノキ、エノキ、クヌギが優占する落葉広葉樹林であり、アズマネザサなどのササ原もあります。動物では、重要種(鳥類)が確認されています。
- ・堤防の草地は、セイバンモロコシ群落、ネズミムギ群落で構成されており、林縁にはオオブタクサ群落もみられます。

## 環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有します。重要種(鳥類)については、生息状況を踏まえて対応を検討します。